

時事新報

日本の萬國博覽會

五
國

英國倫敦高橋義雄
博覽會の利益は成る可く多くの品類を集めて其精粗長短を比較し技術工藝の士に向て其撰む所を知らしむるに同時より幾多縦覧の人々をして知らず識らず皆物上の教育に接し以て各その心匠を養はしむるに在るあり左れば會場の出品は之を狭き内國のみに限らすして廣く之れを外國に求め各國各様の品類意匠を網羅するふと正よ此博覽會の本色なりと申すも可あらん然るが故に來る明治二十三年日本の博覽會は最初亞細亞博覽會ありと聞き余は當局の人々が何故出品を亞細亞のみ求むるや從來博覽會の出品又慣れず又彼の廣告の効能を合點せざる他の亞細亞國人に向つて我が亞細亞博覽會に其出品の多きを求むるは如何、余は其理由を知るよ苦しみなれども又一方より考入れば是れぞ所謂請人魄より始めよの主義にして亞細亞博覽會は即ち後來萬國博覽會の階梯ならん之れを内國博覽會に比すれば規模の大小固より同年の談あらすと信じ當時大に其舉を稱揚したるふとあれど實を申せば内國と云はず亞細亞と云はず我が博覽會を萬國とするふと即ち余が本來希望する所のものあり到り来るに目下我が商政上の急務は從來の内國商賣品を變形し又は新よ意匠を凝らして萬國人の嗜好に適して其評判を博するに在ると勿論なれども我國の諸商工業家をして海外人の意向好尚を知らしむるは實に一大難事なり近來我が商工業家の中、時に自から海外々旅行する人々もあらんかあれども三五人の見聞を擡げて之を全國商工業に及ぼすとは思ひも寄らず或は商品見本陳列所設置の談あらどもありて無きよ勝ると萬々ならんと雖ども此見本を集まる者は各國駐在領事等實際商賣よ疎遠なる人々あらんれば一種の参考にふる爲りもすべけれ之を以て海外貿易の時好風尚を窺はんとしたらば途方もなき間違ひを生ずるの外わる可らず數の見やすき者なれども右海外各國人が我が萬國博覽會よ向て容易に出品す可きや如何、余を以て之を見れば今の廣告流行の世の中に於て我が萬國博覽會に歐米國人の出品を得るは決して六かしき事よ非ず日本は遠東の國にもあり又ろの萬國博覽會は固より前例あき事なりとすれば泰西萬里の出品人には夫れ相應の特典を與へ例へば出品の陳列料を免じ或る特別の出品には其運送費の幾分を給し其他萬能賞典を以て待遇するととせんか萬國の出品萬里を遠しとせすして我が博覽會よ點滅す可きや疑を容れず勿論重大的の諸器械類或は東洋人よ不向きの品等西洋のクフスゴー各造船所の汽船雑形は出品たらん、ヨーロッシャ、仮ンカシャ地方一帯の綿布毛布も出品たらん、シユツフヒールドの大小機器バヨングヘムの減金銀工等最も出品たらざるおし余曾てバヨングヘム、シナエヌスター、シエツヒールド等の諸工場を巡覧了

るの序説次日本の博覧會に出品云々の問題を提出する
と毎度ありしが英國工業家は之れも答ふるに勿論の一語を以てせざるあく金銀器具製造所等に至りては出品は固より喜ぶ所あれども我々の出品は其價幾十萬磅の大金以上るが故に日本の博覽會場又火災其他の恐れあきや會館堅固にして保険の道も行き届き居るや其邊萬端掛念あきよ於ては出品勿論なり云々と答へたる者もありたり是等は英國一部分の啖あれども歐米各國商工業家の根性は先づ以て大同なる可きが故に各國共よ我が博覧會に出品するの有志者に乏しからざるや疑を容れず或は事情不通の爲め其出品の多からざる場合もあらんか是れも亦驚く足らず歐洲諸國の博覧會とも當初より出品の多かりしも非ず漸を以て今日の盛況を呈する迄至りたるとなれば日本の博覧會に出品の數が少なしして爲めよ其名譽を落さるは勿論、日本が亞細亞の先導者として別に文明的の新事業を擧げたるの實は世界各國人の眼に映して我が國體一段の新光彩を加ふるみと余の信じて疑はざる所あり

前陳の如く我國よ萬國博覧會を開けば我國一般の人民は之を縱覽して各様の利益感觸を生じ坐ながら世界の智識を養ふとを得べく美術工藝よ志あるの士は内外の品類を比較して意匠製作の相違する所を悟り以て後來の心得と爲すべく又内外の商賣家は各種の商賣品を見較べて直段の釣合、品柄模様の變化を合算し製造元の派出員に面接して後來取引の相談を整へかたゞ以て利益多きとなるべく又海外の出品人並に來覽の人々は其人數の多寡みを違へ、受くる利益は寧ろ内國人よりも多かるべく彼等は自國の出品と日本産の品とを比較し或は彼此職工の労役手間賃等を取り調べて内地難居免許の後日に企業する等の念を起すべく商賣上に工藝上に又人事交際上に彼此大よ相利益すると實に此萬國博覧會の結果として見る可きなり尙此上も間接の利益は此一舉、海外國人をして一層我が國事に注意せしむるの機會たる可しと申すは他に非ず近來歐米各國の新聞紙は好んで日本の國事を記載し其掲載度數の増加したるは實に著しき事にして英國マシナエスターの新聞紙などは毎日若くは隔日に日本の記事を見る程あり又或る大書物店に至りて日本に關する書籍目録を求むれば殆んど汗牛充棟にして日本人自ら驚く程あれども新聞に書籍に日本の記事の斯くまでよくありたるは決して偶然の事に非ず新聞紙と云ひ書籍と云ひ孰れも世に售らんとする者よして今之を取扱ふ者が日本之事よ關係して斯くまで云々するを見れば社會の人々が日本一事に注意して之れに關する諸報道を好讀する者は誰ぞと云へば親々日本に來遊するか或は來遊したる者に就きて其見聞談と聞き或は其紀行等を読み始て我が國と爲りよ驚服したる人々にして此種の人言を費さず唯余は右等の諸點より考へ合せて萬國博覧會は此方角に向ても如何よ有力ある可きや敢て多いよ／＼増せば著書に新聞紙に日本の事を讀明品評するの度數もいよ／＼増し結局海外國人に向て我國の重きを致すは勢の自然なりと申すべし而して我が萬國博覧會は此方角に向ても如何よ有力ある可きや敢て多いよ／＼増せば著書に新聞紙に日本の事を讀明品評するの度數もいよ／＼増し結局海外國人に向て我國の

○内務省告示 昨三十日の本欄に掲げたる内務省告示第十七號中禁示は禁止の誤りありと昨日の官報より正したり
明治二十一年(四月)當省訓令第十七號歲入下戻金決算證明手續二十一年度限り廢止ス
明治廿二年五月卅一日 農商務大臣伯爵井上馨 謹

○農商務省訓令第二十九號 北海道廳 府縣
日本憲法の發布を祝す 米國バルチモアのヤヨン
ス・ホップキンス大學校は國中屈指の眞校にて我留學生の既に同校を卒業せし者及び現時在校のもの其數少からざる由なるが同校長ギルマン氏は我日本帝國憲法の發布を祝せん爲め去る四月十七日校内のホップキンス館を美麗又裝飾して知人を招待し夜會を催したり當夜の會長はミシガンの前判事長クーレー氏として來會者の中にはハルチモアの知事、日本公使館員等を見受けしが廳て席定まりし頃校長ギルマン氏は同校卒業生筈作佳吉氏及び陸奥公使の兩氏より親切又日本憲法發布の勅語、日本憲法及び諸法律の寫本を各々一部宛送り越したるを以て當夜をトし同憲法發布の祝祭を執行する迄至りたりとの旨を簡単に演べ終り故西郷隆盛氏の令息にして現時同大學校の特別生徒なる西郷菊次郎氏をして同校にて學びし日本學生の姓名を朗讀せしめ次々と會長クーレー氏を會衆に紹介せしかばクーレー氏は一場の演説をなしたり當夜陸奥公使は憲法發布の勅語を奏讀する筈ありしも塞聾の爲め其意を果す能はざりしかば書記官佐藤氏之に代りて勅語を奏讀し次々教授スマール氏は憲法の大切なる部分を指摘して之を評し米國オバーリン専問學校の哲學部を卒業し目下ホーリック大學校の哲學博士の候補者ある家長氏は日本政治社會の變遷と云へる演題にて王政維新より今日至るまでの事情を述べ憲法の發布を讀して此憲法は始て亞細亞大陸又播きたる自由の種と云ふべく而して日本は東洋よ於て第一の自由を生じたりとの名譽を得日本皇帝陛下は現在臣民の歡聲を聞き後來彼等の子孫の幸福を思ひ御足し給ふなるべし(中略)我新憲法は西洋文明の空氣を吸ひたる英敏ある二、三人士の輔導せし事業にあらずして我國民の生活と志想の發達したる結果ありと論じより當夜書を寄せて憲法の發布を祝せし人々の中より三十餘年前米國水師提督ベルリ氏より從えて我國に來りし海軍少將バルク、判事長フーラー議員の報告を終へ一同大學の書室に入りて書記官佐藤氏の煎たる精良の日本茶を飲み歡を盡くして退散したるよし同地よりの近信又見ゆ
○鐵道工事の實習 工科大學にて來學期卒業すべし土木工學專修の人々は近々青森線路其他へ鐵道工事實習の爲め出張するよし
○臨時府縣會 去月二十四日より開會したる臨時大坂府會は去月廿七日を以て一と先づ閉場式を行ひしが更に昨三十一日より臨時府會を開く筈なりしよし又岐阜縣にては本月十日より臨時縣會を開くといふ
○大坂市會議員撰舉日割 同府市會議員の撰舉日割は本月十六七の兩日に三級、十八日に二級、十九日又一級と日割を定めし由あるがの程の紙上に記載せし同

○内務省告示　一昨三十日の本欄に掲げたる内務省告示第十七號中禁示は禁止の誤りありと昨日の官報より正したり
明治二十一年度限リ廢止ス

○農商務省訓令第二十九號　北海道廳　府縣
明治廿二年五月卅一日　農商務大臣伯爵井上　署

主事　　部長

○日本憲法の發布を祝す　米國ハルチモアーラのヤヨン
スホップキンス大學校は國中屈指の眞校にて我留學生の既に同校を卒業せし者及び現時在校のもの其數少からざる由なるが同校長ギルマン氏は我日本帝國憲法の發布を祝せん爲め去る四月十七日校内のホップキンス館を美麗又裝飾して知人を招待し夜會を催したり當夜の會長はミシガンの前判事長クーレー氏として來會者の中にはハルチモアーラの知事、日本公使館員等を見受けしが廳で席定まりし頭校長ギルマン氏は同校卒業生笑作佳吉氏及び陸奥公使の兩氏より親切又日本憲法發布の勅語、日本憲法及び諸法律の寫本を各々一部宛送り越したるを以て當夜をトし同憲法發布の祝祭を執行する至りたりとの旨を簡単に演べ終り故西郷隆盛氏の令息にして現時同大學校の特別生徒なる西郷菊次郎氏をして同校にて學びし日本學生の姓名を朗讀せしめ次々と會長クーレー氏と會衆に紹介せしかばクーレー氏は一場の演説をなしたり當夜陸奥公使は憲法發布の勅語を奉讀する筈ありしも寒骨の爲よ其意を果す能はざりしかば書記官佐藤氏之に代りて勅語を奉讀し次々教授スマール氏は憲法の大切なる部分を指摘して之を評し米國オバーリン専問學校の哲學部を卒業し目下ホップキンス大學校の哲學博士の候補者ある家長氏は日本政治社會の變遷と云へる演題にて王政維新より今日まで至るまでの事情を述べ憲法の發布を讀して此憲法は始て亞細亞大陸より播きたる自由の種と云ふべく而して日本は東洋より第一と自由と生じたりとの名譽を得し人々の中より三十餘年前米國水師提督ペルリ氏より從ふて我國に來りし海軍少將バルク、判事長フーラー義又シ事業にあらずして我國民の生活と志想の發達したる結果ありと論じより當夜書を寄せて憲法の發布を祝せし使アンゲル等の諸氏もあり又曾て故文部大臣の愛顧を受けしチャーレスランマン氏は同大臣の履歴及び功業を認めたる書狀を送りたりと斯くて演説及び手紙の報告を終へ一同大學の書室に入りて書記官佐藤氏の煎たる精良の日本茶を飲み歡を盡くして退散したるよし同地よりの近信又見ゆ

○鐵道工事の實習　工科大學にて來學期卒業すへき土木工學專修の人々は近々青森線路其他へ鐵道工事實習の爲め出張するよし

○臨時府縣會　去月二十四日より開會したる臨時大坂府會は去月廿七日を以て一と先づ閉場式を行ひしが更に昨三十一日より臨時府會を開く筈なりしよし又岐阜縣にては本月十日より臨時縣會を開くといふ

○大坂市會議員撰舉日割　同府市會議員の撰舉日割は本月十六七の兩日に三級、十八日に二級、十九日又一級と日割を定めし由あるがふの程の紙上に記載せし同地各俱樂部各會派の聯合幹事會親會に於て互々無益の